

精神部会	
部会設置の 目的	精神障害のある方が（も）地域の一員として自分らしく暮らすために、必要な支援体制や連携のあり方、地域づくりについて意見交換を行う 幹事会は「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」構築における「協議の場」と位置づける
今年度の 開催状況	＊幹事会…①4/10、②5/8、③6/5、④7/10、⑤8/14、⑥9/25、⑦10/9、⑧11/13、⑨12/4、⑩1/24、 「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」構築に向けた検討の場として⑪3/1 ＊部会…第 1 回：6/7、第 2 回：10/4、第 3 回：2/5
今年度の 課題認識・ 取組の意図	①医療機関とのつながりの強化、医療と福祉のより良い連携に向けた取り組みが必要 ②（引き続き）当事者と地域の方々がお互いを理解し、支え合えるような関係（共助）づくり 特に、来るべき災害に備え、地域防災への意識を高めていくための取り組みを当事者とともに行う ③8050 問題など、都筑区は家族が抱え込んでいるケースが多い傾向にある
今年度の 取組内容	課題認識① 医療機関とのつながりの強化、医療と福祉のより良い連携に向けた取り組みが必要 ☞どんな取組をした？ ✓第 1 回部会「地域と医療の連携について」を開催（6/7） ・40 名参加 ・講義：「地域と医療の連携について」（あさひの丘病院 医療相談室 須藤氏） ・グループワーク …あさひの丘病院 須藤氏より、病院の役割についてお話をいただいた グループワークでは、より良い連携を図るために、<u>医療・地域のそれぞれの想い、働きかけの方法</u>など、意見交換を行った 課題認識② 地域の共助、地域防災への意識を高めていくための取り組みを当事者とともに行う ☞どんな取組をした？ ✓第 2 回部会「防災についてみんなで考えよう」を開催（10/4） ・31 名（うち当事者 4 名）参加 ・制度説明：「都筑区の防災について」（区総務部総務課危機管理・地域防災担当 鮫嶋係長） ・グループワーク：地域防災拠点の確認 都筑区（日中活動先や入居先）で被災した際の防災について考える …都筑区役所 危機管理・地域防災担当 鮫嶋係長より、自助、共助についてお話をいただいた グループワークでは、日中活動先や入居先で被災した際に、<u>事業所でどのような備えをしているか、どのようなことに対して不安を感じているのか</u>等、意見交換を行った 課題認識③ 8050 問題など、都筑区は家族が抱え込んでいるケースが多い傾向にある ☞どんな取組をした？ ✓第 3 回部会「親あるうちに自立を考えよう」を開催（2/5） ・46 名参加 ・講話：「親あるうちに自立を考えよう～精神科臨床の立場から～」（リンクスメンタルクリニック 中村氏） ・グループワーク：地域防災拠点の確認 都筑区（日中活動先や入居先）で被災した際の防災について考える …リンクスメンタルクリニック 中村氏より、精神科臨床の立場から親あるうちの支援についてお話をいただいた グループワークでは、実際に関わっている親子ケースについて発表、共有を行った

今年度の 成果と課題	成果	○防災についての課題や対策を、当事者と一緒に話す機会を設けられた（共助への取り組み） ○新たに医療の方の幹事参加により、地域と医療の連携を一層強化し部会にも取り入れることができた ○精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムを考える場としても部会を活用できた
	地域課題	●地域の一員として自分らしい暮らしの実現 ⇒障害のあるなしに関わらず、地域との繋がり大切さを考える ●地域生活を支える担い手（支援者）不足 ⇒ヘルパー、退サポ、地域移行・地域定着支援等、アウトリーチ等 ●長期入院の方の地域移行
	部会運営 の課題	●地域と医療機関の連携の強化を継続する取り組み ●都筑区版「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」の構築
他の部会に 聞きたい事／ 共通課題		●地域の一員として自分らしい暮らしの実現 ●障害に対する理解の促進 ●地域とのつながりの促進 ●ヘルパーの担い手不足 ●地域生活を体験できる場が少ない⇒長期入院の背景では？
今後の取組		☆当事者と地域の方々がお互いを理解し、支え合えるような関係（共助）の構築に向けた取り組み ☆“都筑区版”精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み ☆医療と福祉のより良い連携に向けた取り組み ☆当事者の部会参加